

# 横暖ルーフ

工法

重ね葺き

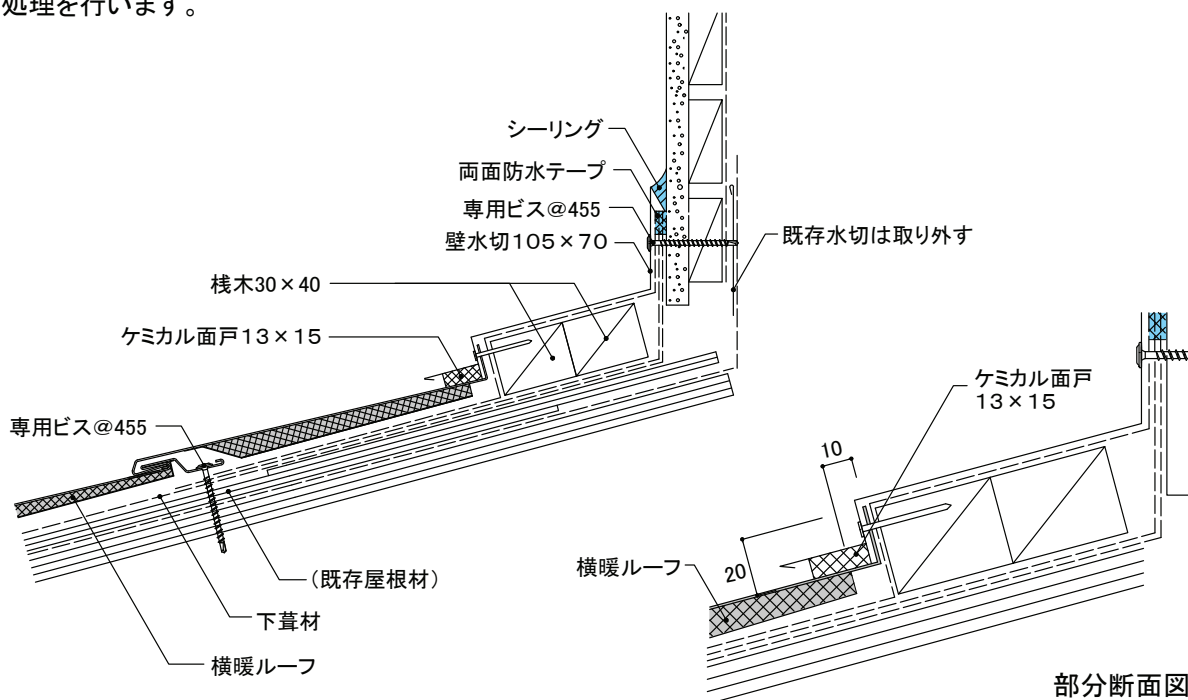
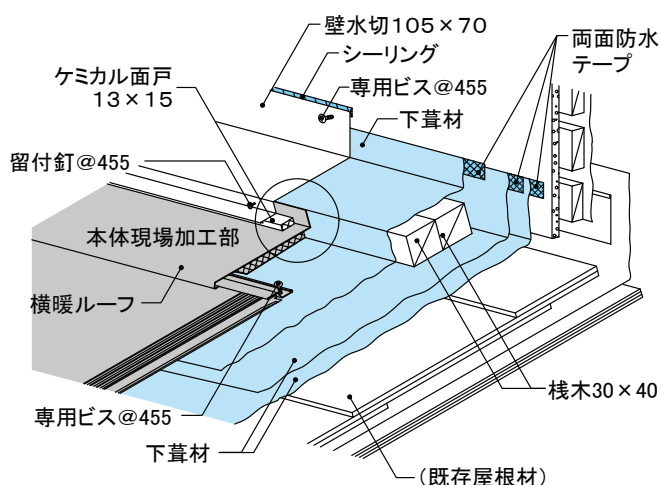
既存屋根材

セメント系新生瓦  
アスファルトシングル

## 8) 下屋根部

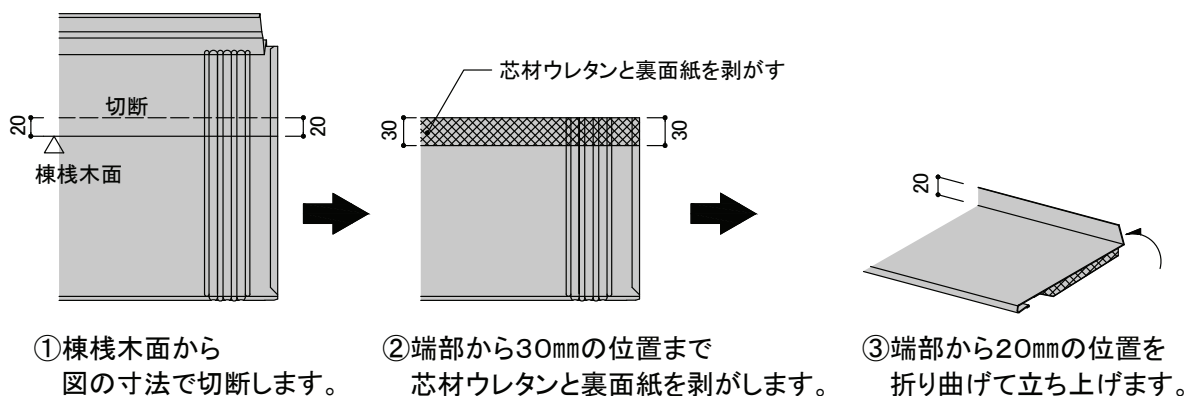
## ④棟側 壁水切105×70

- 既存屋根材に、下葺材を張ります。  
(下葺材の壁止まり部は必ず既存壁まで立ち上げ、両面防水テープで留めます。)
- 桟木30×40を2ヶ所取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りします。
- 図のように、壁取り合い部を現場加工した横暖ルーフ本体を施工します。
- ケミカル面戸13×15は図の位置に貼り付け、壁水切105×70をかぶせるように施工します。既存壁には専用ビス(ステンレスドリルビスφ4.4mm×55mm)、桟木には留付釘(ステンレスクリュー釘長さ32mm以上)を用いて、それぞれ455mm以下の間隔で留め付けます。
- 壁水切上部にはシーリングを施工し、止水処理を行います。



### ■施工ポイント・現場加工図

- 横暖ルーフ本体の壁付部分は、図のように加工します。



①棟桟木面から  
図の寸法で切断します。

②端部から30mmの位置まで  
芯材ウレタンと裏面紙を剥がします。

③端部から20mmの位置を  
折り曲げて立ち上げます。